

県内の美しい自然を切り
取った岩崎さんの写真展
＝徳島市の徳島大学病院



剣山や黒沢湿原 自然の美収める

徳大病院で写真展

日本風景写真協会徳島支部長の岩崎英昭さん(81)＝上板町神宅＝の写真展「美しい徳島」が、徳島市の徳島大学病院で開かれている。6月13日まで。

中央診療棟1階の市民ギャラリーに、剣山や黒沢湿原、高越山などを切り取った20点を展示。浮草が漂う水面に木々が写り込む黒沢湿原や、急斜面の山村を囲むように現れた虹など、幻想的で美しい風景写真が飾られており、患者や医療従事者らの目を楽しませている。

登山愛好家でもある岩崎さんは、半世紀にわたって県内の山の風景を写真に収めてきた。今回は過去5年間、秋から冬までに撮影した作品を中心に、よりすぐって展示した。岩崎さんは「徳島の癒やしの風景を楽しんでもらえたら」と話している。

ギャラリーは2011年に開設。入院患者らの癒やしを目的に一般から出品者を募り、写真や絵画、詩などを約3カ月ごとに入れ替えながら展示している。

(山口和也)